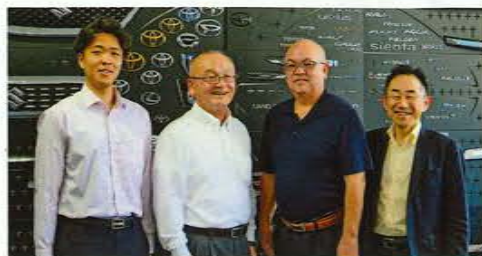


開発したメーカーに行ってきた!

### 関東化成工業株式会社

設立/1969年 売上高/126.8億円(23年度)



1946年に関東学院工業専門学校(現在の関東学院大学)の実習工場として誕生し、62年に世界初の樹脂めっき技術の開発に成功。69年に学校法人から独立した。幅広く世に使ってほしいと、特許を取得しなかったことで、現在世界中で同社の技術が使われる、世界的な樹脂めっきメーカー。

「なぜカートにクーラーがない? ならば我々がやってみよう」



普段結構目にする  
関東化成の製品



これも

自動車がEV化されると部品の受注も減ってしまう。その危機感から将来のために新規事業部を立ち上げるなか、カート用のクーラー開発に着手。「最初は『カートにクーラーがあったら絶対いいのに、何でないんだ? だったら我々が造ろう』という単純な動機でした。設計や寸法、バッテリーの開発まで、すべて手探りからスタート。技術的な課題も多く、多分、専門分野だったらやる前から躊躇したでしょう。でも我々は専門ではなかった分、『だったらこうやってみよう』とトライし続けられました」(宮崎社長)。初期投資に上限を決めずにひたすら開発だけに集中できる環境も整え、良いと思うからこそスピーディに完成させることに重きを置いて開発。モノづくりのプロだからこそ完成度にこだわったことで、昨年納入して以来、これまで大きなトラブルは出ていない。海外からの問い合わせも増えてきたというので、今後、世界中でクーラーカートがスタンダードになる日がくるかも?

「喜ばれるものを  
考えて造るのは  
やっぱり楽しい」

社長・宮崎武士さん



ドリゾートの担当者が実際に体感したところクーラーの効果に驚嘆。夏の集客の目玉として、同社のフラグシップコースでもある近鉄賢島CCの4人乗りカート全台に導入することが決定。すでに運用を開始している。「ここ数年、夏の間はブレーを控える方も多くなりました。『クーラーがあればいいのに』という声もメンバーさんから上がっていました。そんな折、『ソレイユ』の存在を知り、これがあれば夏でも快適にプレーができると思いついて導入することにしました。夏の集客にも貢献してくれるはず、と大いに期待しています」(近鉄賢島CC支配人・形部康さん)。一度利用してしまうと、もう他の選択肢はなくなるほど効果は絶大。その涼しさを体感しにプレーに行ってみてください!

「クーラーの効いた部屋みたい!」

ゴルフ・中里さや香が体験レポート

5度の冷気が吹き出す

「車のエアコンとは比べ物にならないくらい冷たい風が直接体に吹き付けるので、強い日差しで火照った体もクールダウン。温度も自在に調整できるし、クーラーの効いた部屋にいるみたいです!」

6月15日から  
奈良県の  
花吉野CCでも  
運用開始

近鉄ゴルフアンドリゾートが運営する奈良県のコースでも今週から全カートで運用開始。岡本綾子監修で花々が咲き誇る美しいコースを今まで以上に快適にプレーできるように



# 近鉄賢島CCで全国初 4人乗りカート 全台に導入

ら出る風の温度は5度から26度まで設定可能。5度は車のエアコンよりも断然強力で、冷蔵庫の中とほぼ同じ。火照った体を一瞬で冷やしてくれる。

小誌でも昨年の夏対策特集で紹介したが、コスト面での負担もあり試験的に1〜2台導入するコースしかなかった。しかし、近畿エリアで4コース展開する近鉄ゴルフファン

# カートにクーラーを付けました!

猛暑ゴルフ対策の最終兵器

ここ数年、酷暑が続く日本の夏。今年も昨年と同じような記録的な猛暑になると予想されている。夏でも快適にプレーするすべはないものか...と、昨夏に誕生したのが既存のカートに後付けできるクーラー、コンパクトカート「ソレイユ」。バッテリー式で最大8時間連続使用が可能なので、満充電しておけば朝から晩まで冷気が持続。吹き出し口か



温度・風量も簡単調整

カートをビニールシートなどで覆わなくても、十分な冷気とパワフルな風量があるので快適。寒い季節にはシートヒーターが使用できるので冬ゴルフ対策としても効果を発揮

天井から冷気が吹き出し、  
ヒンヤリ快適



三重県  
志摩市

近鉄賢島CC  
設計/上田治 開場/1969年

名匠・上田治が海と横山の緑に囲まれた景勝の地にリアス海岸を巧みに取り入れて設計。TOTOジャパンクラシックなど数々のトーナメントの舞台になってきた。リゾートコースでありながら、アリソンバンカーなど上田らしい戦略性に富んだ名設計だ